

メディア掲載情報

媒体名	BICYCLE21
掲載号	
掲載日	2016年5月20日
掲載内容	D-NAIについて



カツデンアーキテック



小田原駅前コミュニティサイクル“Let's Bike”を利用し、小山黒壁へ。便利で快適だ

GPS機能搭載!
神奈川県西地域に導入された
次世代コミュニティサイクル

小田原、箱根などの観光資源が点在する神奈川県西地域。近年では箱根や芦ノ湖などのエリアを走るサイクリングコース、また自転車道のマンガナーの発行とともに、サイクリストの間で人気が高まっている。

その神奈川県西地域に、2016年、コミュニティサイクル“Let's Bike”が誕生した。サービス開始時は小山黒壁駅、新田駅、山北駅前の3つのサイクルポートがメインプラン。さらには4番目のポートが開成駅に開設された。

運営事業者は、駐輪場の運営システムを手がける川崎市の長海技研。特長は

にサイクルポートを8つまで増やし、107台の自転車を設置する計画という。1台30分まで使用される電動アシスト自転車は、1台2000円の次世代サイクルシステムを採用。速度性能やGPS機能、遠隔制御機能が標準本体に搭載されているので、自転車本体のみで貸出・返却・充電などの管理が完了する。

料金は全日限定の1日1000円の1日プランと、最初の4時間から500円、4時間を超えると1000円の4時間プランの2種類。

また、会員登録をしないでも利用できる1パス1日1000円も用意されており、小田原の無印良品でクレジットカードだけでなく交通系ICカード、JISXの有人窓口では現金も利用可能となっている。



小田原駅前のLet's Bikeサイクルポート



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
 発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
 あらかじめご了承ください。